

令和4年度 おきなわ県民カレッジ 報告書



生涯学習推進センター
「組踊への誘い」 in 国立劇場おきなわ



国頭教育事務所
「ヴォイストレーニング」(もとぶ文化交流センター)



島尻教育事務所
「フラワーアレンジメント」(県立南部農林高等学校)



中頭教育事務所
「フィールドワーク」(読谷村チビチリガマ)



宮古教育事務所
「世界の友と料理を作ろう！」(宮古青少年の家)



那覇教育事務所
「魚料理講座」(県総合運動公園)



八重山教育事務所
「暮らしの中に活かす茶道の心」(表千家不白流清河庵)

沖縄県教育庁生涯学習振興課

はじめに

「おきなわ県民カレッジ」は、国、県、市町村、大学等で実施している生涯学習に関する講座等を体系化し、県民の皆様に学習機会を提供するとともに、学んだことを評価・活用するために運営しております。

昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、参加人数の調整や県の感染症拡大防止ガイドラインに沿った衛生管理徹底の上での講座実施など各市町村や高等教育機関、青少年教育施設等の協力を得ながら、主催講座及び連携講座の開催をすることができました。

特に主催講座においては、美ら島沖縄学講座として本県が誇る自然に関する講座「沖縄の自然と気候変動～自然環境を身近に感じて考える～」陸編と海編の2講座を実施、歴史講座「琉球国時代の疫病対策」では、現代の新型コロナウイルス感染対策と比較しながら学べる内容で実施できました。また、オンデマンド講座の収録4講座、遠隔講義配信システムを活用して5講座をライブ配信するなど、全10講座を実施することができました。

広域学習サービス講座では、国頭・中頭・那覇・島尻・宮古・八重山の各教育事務所において、地域のニーズに対応した全25講座を実施し生涯学習の推進に取り組んでまいりました。

また、「国立劇場おきなわ」と連携し、実演家による解説講座と組踊観劇をセットに講座を実施したことで、受講者の皆様に好評をいただくことができました。今後とも、これまでの成果や課題を踏まえ、引き続き感染症拡大防止に努めながら「おきなわ県民カレッジ」の一層の充実を図り、県民への生涯学習機会の効果的な提供に取り組んでまいりたいと考えております。

おわりに、本事業の実施にあたり、ご協力をいただきました関係機関、市町村教育委員会並びに関係者各位に対し、心から感謝申し上げます。

令和5年3月

沖縄県教育庁生涯学習振興課

課長 大宜見 勝美

目 次

1	おきなわ県民カレッジ事業について	
(1)	主催講座数	1
(2)	連携講座数	1
(3)	入学者数	1
(4)	おきなわ県民カレッジ奨励賞受賞者数一覧	1
(5)	おきなわ県民カレッジ市町村別入学者数	2
2	主催講座の実施報告	
(1)	令和3年度おきなわ県民カレッジ主催講座一覧	3
(2)	美ら島沖縄学講座	
第1回	「組踊への誘い」 in 国立劇場おきなわ	4
第2回	琉球国時代の疫病対策	5
第3回	おもろさうしの世界	6
第4回	泡盛の魅力・香りを探る〈中級編〉	7
第5回	沖縄の自然と気候変動〈陸編〉	8
第6回	古文書の読み方 1	9
第7回	沖縄の自然と気候変動〈海編〉	10
第8回	伝統の漆工芸の世界	11
第9回	沖縄の湧き水巡り〈本島中部編〉【雨天中止】	-
第10回	古文書の読み方 2	12
第11回	次世代に伝えたい琉球料理	13
(3)	広域学習サービス講座(教育事務所名)	
(国頭)	やんばる豊かな自然、文化に触れて、いきいきと前向きな暮らしを！	14
(中頭)	つながる 広がる まなびの輪	18
(那覇)	沖縄の自然・文化を体験しよう！	22
(島尻)	「島尻は一つ」魅力ある地域の再発見	25
(宮古)	復帰50周年 宮古にもたらしたもの	30
(八重山)	暮らしを彩る「自然・文化」への学び	35
3	主催講座受講生アンケートより	
(1)	主催講座受講者数(年代別・市町村別)	39
(2)	講座を受けた動機	42
(3)	今後学習したいこと	45
4	おきなわ県民カレッジ機関別連携講座数	48
5	おきなわ県民カレッジ開設要綱等	49

1 おきなわ県民カレッジ事業について

2023年2月28日現在

(1) 主催講座数(沖縄県教育委員会が企画・運営する講座)

	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年
美ら島沖縄学講座	6	5	11	11	10	9	9	11	11	11	12	10	11	10
受講者数(人)	472	250	510	393	329	320	503	581	888	1,084	861	542	404	410
広域学習サービス講座	6	6	6	6	6	6	7	25	25	25	25	22	25	25
受講者数(人)	234	182	224	257	330	540	810	626	585	504	540	390	447	517
学校開放講座	5	4	1	3	1	1	-	-	1	1	6	-	-	-
受講者数(人)	135	65	88	211	232	123	-	-	12	310	278	-	-	-
講座数の合計	17	15	18	20	17	16	16	36	37	37	43	32	36	35
受講者数の合計(人)	841	497	822	861	891	983	1,313	1,207	1,485	1,898	1,679	932	851	927

(2) 連携講座数

	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年
国・県関係機関	176	228	206	186	303	235	243	153	135	170	346	226	218	246
市町村関係機関	211	152	228	250	255	170	224	206	241	281	270	242	227	314
高等教育機関	233	217	253	358	231	204	109	114	122	279	197	22	133	10
各種教育関係機関	659	557	321	465	322	391	675	770	780	885	1,172	981	841	668
合計	1,279	1,154	1,008	1,259	1,111	1,000	1,251	1,243	1,278	1,615	1,985	1,471	1,419	1,238

(参考)おきなわ県民カレッジの講座種類

主催講座	美ら島沖縄学講座	生涯学習推進センターが企画・運営している講座。沖縄学をテーマに実施する講座
	広域学習サービス講座	各教育事務所が企画・運営している講座。地域に根ざしたテーマで実施する講座
	学校開放講座	県立学校等施設を開放して、各学校の施設や人材を生かして実施する講座
連携講座	国や県関係機関、市町村教育委員会、大学、公民館、図書館等が実施する講座で、おきなわ県民カレッジ連携講座として認定された講座	

(3) 入学者数

	H17~20	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	合計
男性	659	157	108	159	171	131	124	109	112	139	122	382	151	190	287	6,948
女性	1,581	258	209	226	298	209	169	293	223	266	215					
合計	2,240	415	317	385	469	340	293	402	335	405	337					

(4) おきなわ県民カレッジ奨励賞受賞者数一覧

	H18~20	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	合計
筑登之賞 (100単位)	23	5	10	40	18	17	24	41	16	3	28	26	28	2	2	283
里之子賞 (200単位)	9	8	5	2	2	14	21	11	8	3	4	8	3	1	1	100
親雲上賞 (300単位)	1	8	4	-	5	1	8	7	3	2	3	6	2	-	2	52
親方賞 (400単位)	-	2	6	2	2	-	8	7	5	2	2	5	2	-	1	44
学長賞 (500単位)	-	-	1	2	2	3	-	6	9	6	6	2	3	-	-	40
合計	33	23	26	46	29	35	61	72	41	16	43	47	38	3	6	519

(5)おきなわ県民カレッジ市町村別入学者数

2023年2月28日現在

	H20まで累計	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	累計
1 国頭村	34	3	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	38
2 大宜味村	7	-	1	-	-	-	3	-	-	-	4	2	-	1	7	25
3 東村	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	6
4 今帰仁村	6	1	-	1	-	1	1	-	-	1	-	1	-	4	3	19
5 本部町	18	4	-	8	1	-	7	14	15	3	-	3	17	-	8	98
6 名護市	63	3	1	16	14	2	16	21	4	8	29	33	10	15	19	254
7 宜野座村	1	-	-	-	1	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	5
8 金武町	4	-	-	-	3	1	3	2	1	1	-	-	1	-	1	17
9 伊江村	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	-	-	-	-	3
10 伊平屋村	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2
11 伊是名村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3
12 恩納村	4	-	-	-	-	1	-	2	2	1	-	-	1	-	-	11
13 うるま市	142	5	2	4	6	3	4	4	14	10	9	8	3	-	5	219
14 読谷村	10	2	3	1	2	2	2	2	3	8	1	1	-	2	-	39
15 嘉手納町	11	-	-	1	-	1	-	1	-	4	-	-	-	-	-	18
16 沖縄市	71	11	14	24	11	6	2	14	6	11	19	9	8	15	12	233
17 北谷町	20	3	4	-	5	7	8	9	7	13	10	7	2	-	2	97
18 宜野湾市	88	43	17	47	17	25	17	19	15	27	22	24	3	5	12	381
19 北中城村	17	4	1	3	1	-	5	4	3	12	2	3	-	1	2	58
20 中城村	14	5	1	5	1	1	-	5	4	6	3	3	3	-	3	54
21 西原町	60	19	16	18	13	10	13	13	9	7	14	9	4	2	13	220
22 浦添市	135	33	20	23	24	26	22	34	23	42	27	32	16	14	11	482
23 那覇市	899	138	111	111	222	151	104	145	113	119	93	105	34	33	77	2,455
24 久米島町	-	-	-	-	1	1	-	-	-	1	-	1	-	-	-	4
25 南大東村	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
26 北大東村	12	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	13
27 豊見城市	64	17	34	17	22	30	18	24	27	23	14	27	3	2	5	327
28 糸満市	71	11	8	6	7	27	21	16	8	11	13	31	5	2	11	248
29 八重瀬町	47	34	4	9	8	2	8	7	4	8	9	8	1	7	8	164
30 南城市	51	7	6	10	28	5	10	13	8	11	10	3	3	6	8	179
31 与那原町	26	3	4	24	3	7	2	4	8	11	8	3	-	2	2	107
32 南風原町	66	7	7	11	15	12	15	9	11	15	12	15	3	4	9	211
33 渡嘉敷村	-	2	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	5
34 座間味村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
35 粟国村	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	5
36 渡名喜村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
37 宮古島市	124	29	24	17	28	18	11	38	33	13	17	7	10	13	3	385
38 多良間村	20	-	-	-	-	-	-	-	-	7	5	19	1	-	1	53
39 石垣市	126	30	37	29	36	-	-	1	14	25	14	23	22	60	63	480
40 竹富町	18	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	1	2	-	25
41 与那国町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	2,240	415	317	385	469	340	293	402	335	405	337	382	151	190	287	6,948

2 主催講座の実施報告

令和4年度おきなわ県民カレッジ主催講座一覧

(1) 美ら島沖縄学講座

2023年1月28日現在

番号	【講座名】	開催場所	開催期間	ライブ配信	開催地	受講者数	
1	組踊への誘い「花売りの縁」	国立劇場おきなわ	6月25日(土)		浦添市	31	人
2	琉球国時代の疫病対策	南部合同庁舎4階 生涯学習推進センター	7月27日(水)		那覇市	32	人
3	おもろさうしの世界	生涯学習推進センター サテライト会場：各教育事務所 特別サテライト会場 玉城青少年の家、多良間村	8月17日(水)	○	那覇市	48	人
4	泡盛の魅力・香りを探る -中級編-	沖縄県立図書館	9月10日(土)		那覇市	28	人
5	沖縄の自然と気候変動 -自然環境を身近に感じて考える〈陸編〉-	南部合同庁舎4階 生涯学習推進センター	9月21日(水) ↓延期 9月28日(水)		那覇市	32	人
6	古文書の読み方1	生涯学習推進センター サテライト会場：各教育事務所 特別サテライト会場 玉城青少年の家、多良間村	10月5日(水) ↓延期 10月7日(金)	○	那覇市	50	人
7	沖縄の自然と気候変動 -自然環境を身近に感じて考える〈海編〉-	南部合同庁舎4階 生涯学習推進センター	10月26日(水)		那覇市	25	人
8	琉球・沖縄の漆工芸の世界	生涯学習推進センター サテライト会場：各教育事務所 特別サテライト会場 玉城青少年の家、多良間村	11月25日(金)	○	那覇市	32	人
9	沖縄の湧き水めぐり -本島中部編-	北中城湧き水群フィールドワーク	12月10日(土) → 雨天中止		北中城村		人
10	古文書の読み方2	生涯学習推進センター サテライト会場：各教育事務所 特別サテライト会場 玉城青少年の家、多良間村	11月9日(水) ↓延期 12月23日(金)	○	那覇市	42	人
11	次世代に伝えたい琉球料理	生涯学習推進センター サテライト会場：各教育事務所 特別サテライト会場 玉城青少年の家、多良間村	1月13日(金)	○	那覇市	90	人

受講者延べ人数 410 人
(R3 404人)

(2) 広域学習サービス講座

番号	【事務所名】テーマ	開催場所	開催期間(回数)	開催地	受講者数		
1	【国頭教育事務所】 やんばる豊かな自然、文化に触れて、いきいきと前向きな暮らしを！	・国頭教育事務所 ・大宜味村農村環境改善センター ・名護城公園せせらぎ広場 ・もとぶ文化交流センター	①10月1日(土) ②10月15日(土) ③11月26日(土) ④12月10日(土)	全4回	名護市 大宜味村 名護市 本部町	94	人
2	【中頭教育事務所】 つながる 広がる まなびの輪	・中頭教育事務所 ・中頭教育事務所 ・中頭教育事務所 ・読谷村チビチリガマ	①11月27日(日) ②12月3日(土) ③12月4日(日) ④12月11日(日)	全4回	沖縄市 沖縄市 沖縄市 読谷村	71	人
3	【那覇教育事務所】 沖縄の自然・文化を体験しよう！	・沖縄県立博物館・美術館 ・東村(雨天中止) ・沖縄県総合運動公園50mプール ・沖縄県総合運動公園郷土館	①8月9日(火) ②9月24日(土) ③10月22日(土) ④11月12日(土)	全4回	那覇市 東村(中止) 沖縄市 沖縄市	80	人
4	【島尻教育事務所】 島尻はひとつ 魅力ある地域の再発見	・漫湖水鳥湿地センター ・おきなわ工芸の杜 ・沖縄県立南部農林高等学校 ・沖縄県立南部農林高等学校 ・豊見城市中央公民館	①10月13日(木) ②10月20日(木) ③10月26日(水) ④11月16日(水) ⑤12月15日(木)	全5回	豊見城市	85	人
5	【宮古教育事務所】 復帰50周年 宮古にもたらしたもの	・宮古教育事務所 ・宮古島気象台 ・宮古教育事務所 ・宮古教育事務所、島尻入江橋 他 ・宮古青少年の家	①5月28日(土) ②7月17日(日) ③10月1日(土) ④10月29日(土) ⑤12月3日(土)	全5回	宮古島市	97	人
6	【八重山教育事務所】 暮らしを彩る「自然・文化」への学び	・石垣青少年の家 ・表千家不白流 清河庵 ・表千家不白流 清河庵 ・石垣青少年の家	①9月25日(日) ②10月8日(土) ③10月9日(日) ④10月23日(日)	全4回	石垣市	90	人

受講者延べ人数 517 人

組踊への誘い

1 講座の内容

組踊は、せりふ、音楽、所作、舞踊によって構成される歌舞劇であり、琉球を訪れる中国皇帝の使者、冊封使一行を歓待する為に創作された琉球独自の芸能である。現在では国指定重要無形文化財、世界ユネスコ無形文化遺産一覧に記載される等、我が国の誇れる舞台芸術のひとつとなっている。

本講座では、組踊誕生の歴史的背景や、独自の演技様式・表現方法などを紹介。講座終了後は、親子の絆と愛情を描いた名作「花売りの縁」を鑑賞する。

2 講座の概要

- (1) 講師 金城 真次 氏 (国立劇場おきなわ芸術監督)
- (2) 日時 令和4年6月25日 (土) 12:30~16:00
- (3) 場所 国立劇場おきなわ
- (4) 受講者数 31人(うち講座のみ1名)
- (5) 共催 公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団
- (6) プログラム
 - ・開会のあいさつ
 - ・講師紹介
 - ・講話
 - ・閉会のあいさつ
 - ・鑑賞「花売りの縁」



3 成果

- ・「国立劇場おきなわ」の御協力により、恒例となった「組踊への誘い」講座。講師、講話内容ともに適切でわかりやすく、理解が深まったと好評であった。
- ・組踊の歴史や音楽、演出について、映像を用いて詳しく説明されたので、学びになった、面白かったという受講者の感想が寄せられた。
- ・実際に組踊も鑑賞でき、楽しく勉強できたと、総じて好評だった。

4 課題

- ・鑑賞料不要と誤認されている方がひとりいた。鑑賞料が必要な講座の場合、電話受付時にお伝えしているが、再度、電話受付の際に金額を伝えることが必要。

琉球国時代の疫病対策

1 講座の内容

いつの時代にも存在し、集団発生で社会的・経済的・文化的に大きな影響を与える疫病。かつて琉球国時代にも、風疹、コレラ、天然痘などが流行っていた。当時は、疫病に対してどのような対策がとられたのか。現代のインフルエンザや新型コロナウイルス対策と比較しながら、琉球国時代の疫病蔓延の様子やその対策を学ぶ。

2 講座の概要

- (1) 講師 豊見山 和行 氏 (琉球大学名誉教授・琉球大学客員研究員)
- (2) 日時 令和4年7月27日 (水) 14:00～16:00
- (3) 場所 南部合同庁舎4階 生涯学習推進センター会議室
- (4) 受講者数 32人
- (5) 共催 なし
- (6) プログラム
 - ・開会のあいさつ
 - ・講師紹介
 - ・講話
 - ・閉会のあいさつ



3 成果

- ・コロナ禍の中で、往年の疫病対策は興味深いテーマであった。疫病が蔓延する経緯、様相対策の推移など、長期的観察・検証をもとにした歴史的アプローチを試みながら、感染症(伝染病)への関心・問題意識が深められた。

4 課題

- ・講師は琉球史が専門であるが、寄せられた質問はコロナやワクチンの効果など医学的なものが多く、答えにくかった。疫病発生は衛生状態であることは現代医学の一般的な認識である。講座は琉球国時代の検証であり、当時とは衛生状態も違うので、現代の疫病対策と混同しないようアナウンスをした方がよかった。
- ・オンデマンド用の録画に途中、不具合が生じた。

おもろさうしの世界

1 講座の内容

おもろとは神と人をつなぐ「祈りの歌」。グスク時代から王国時代にいたる古琉球社会において、祭祀・儀礼の場で生まれ、うたい継がれてきた歌謡である。首里王府でおもろを編集し、書物としたものがおもろさうしである。第1巻は1531年に成立し、全22巻より成る。口承文芸と琉球文学との関係や、具体的なおもろを読み解きながら、おもろさうしの世界を考察する。

2 講座の概要

- (1) 講師 波照間 永吉 氏 (名桜大学大学院特任教授)
- (2) 日時 令和4年8月17日(水) 14:00~16:00
- (3) 場所 南部合同庁舎4階 生涯学習推進センター会議室
サテライト会場：各教育事務所(国頭・中頭・島尻・宮古・八重山)
※特別サテライト会場：玉城青少年の家・多良間村
- (4) 受講者数 48名(ライブ会場参加者含む)
- (5) 共催 なし
- (6) プログラム
 - ・開会のあいさつ
 - ・講師紹介
 - ・講話
 - ・閉会のあいさつ



3 成果

- ・新型コロナウイルス感染拡大中であつたが、50名の定員を減らし、30名にして開催することができた。
- ・おもろさうしは独学では読みづらいため、講師の専門的な説明が助けとなった。
- ・沖縄の古典として、歴史理解の一助になった。
- ・おもろさうしについて初歩的な知識が得られた。

4 課題

- ・中頭サテライトの映像・音声が時々フリーズするなど、通信障害の課題がある。
- ・出入り口や窓を開けながらの空調なので、前半は暑く、後半は寒かった。コントロールの必要がある。

泡盛の魅力・香りを探る -中級編-

1 講座の内容

600年の歴史があるといわれる泡盛。「仕次ぎ」という独特の技法は沖縄の文化のひとつ。今回の中級編では古酒の魅力と甕の相性、古酒の育て方、泡盛と甕の相性、一般酒と古酒の香りの違いなどを探っていく。古酒を中心に食文化にも触れ、泡盛と各種料理の相性、楽しみ方についても紹介する。

2 講座の概要

- (1) 講師 照屋 充子 氏 (沖縄県知事認証泡盛マイスター・琉球大学非常勤講師)
- (2) 日時 令和4年9月10日(土) 14:00~16:00
- (3) 場所 沖縄県立図書館3階ホール
- (4) 受講者数 28名
- (5) 共催 沖縄県酒造組合
- (6) プログラム
 - ・開会のあいさつ
 - ・講師紹介
 - ・講話
 - ・閉会のあいさつ



3 成果

- ・泡盛の歴史、種類、原料、製法、定義、テイスティング法、育成法、食との相性まで広く分かりやすく説明していただいた。
- ・沖縄県酒造組合との共催により、3種類の泡盛を受講者が自宅でノウズィングにより直接比較できるよう、サンプルを提供することができた。

4 課題

- ・会場である沖縄県立図書館は飲食禁止のため、講義と併行してその場で泡盛のテイスティング・ノウズィングができない。

沖縄の自然と気候変動<陸編>

1 講座の内容

沖縄の自然は次世代に受け継がれるべき大切な県民の財産。近年、気候変動による自然環境への影響が懸念されている。沖縄の自然を守り、自然と共生していく課題について考える。

2 講座の概要

- (1) 講師 大島 順子 氏 (琉球大学准教授)
- (2) 日時 令和4年9月28日(水) 14:00~16:00
- (3) 場所 生涯学習推進センター 南部合同庁舎4階会議室
- (4) 受講者数 32人
- (5) 共催 なし
- (6) プログラム
 - ・開会のあいさつ
 - ・講師紹介
 - ・講話
 - ・閉会のあいさつ



3 成果

- ・気候変動とやんばるの動植物の変化について、身近な例を挙げながら説明できた。
- ・今回から質問用紙ではなく、直接質問形式にしたところ、そもそも温度計の精度が130年前と現在では違うので、温暖化データの信憑性について質問が出るなど、活況を呈した。

4 課題

- ・スライドを映しながらの解説だったので、資料としてレジュメが欲しいという意見があった。

古文書の読み方 1

1 講座の内容

琉球の歴史や社会が垣間見える古文書。この講座では琉球王国時代に国内で作成された古文書を取り上げ、その社会的な展開と特徴について解説。実際に古文書を数点読み、文章の読み方や文意の取り方を学ぶ。古文書はいわゆる「くずし字」で書かれており、読解は難しいが、比較的読みやすい古文書を教材とする。初めて学ぶ方でも古文書に親しみが持てるような内容で、昨年度の講座とは異なる史料を使用する。

2 講座の概要

- (1) 講師 麻生 伸一 氏 (琉球大学教授)
- (2) 日時 令和4年10月7日(金) 14:00~16:00
- (3) 場所 本会場：南部合同庁舎4階 生涯学習推進センター会議室
サテライト会場：各教育事務所(国頭・中頭・島尻・宮古・八重山)
※特別サテライト会場：玉城青少年の家・多良間村
- (4) 受講者数 50名(ライブ会場参加者含む)
- (5) 共催 なし
- (6) プログラム
- ・開会のあいさつ
 - ・講師紹介
 - ・講話
 - ・閉会のあいさつ



3 成果

- ・実際の古文書を使いながら進めていくスタイルは従来通りで、わかりやすかった。
- ・古文書を読んで歴史的背景まで読み取れる事が良かった。

4 課題

- ・初心者には進め方がやや早いという意見もあった。

沖縄の自然と気候変動〈海編〉

1 講座の内容

近年、海水温が上昇する、珊瑚が減少するなど、気候変動による自然環境への影響が懸念されている。沖縄の海をはじめとする自然を守り、身近な自然との共生について考える。

2 講座の概要

- (1) 講師 鹿谷 麻夕 氏 (しかたに自然案内人)
- (2) 日時 令和4年10月26日(水) 14:00~16:00
- (3) 場所 本会場：南部合同庁舎4階 生涯学習推進センター会議室
- (4) 受講者数 25人
- (5) 共催 なし
- (6) プログラム
 - ・開会のあいさつ
 - ・講師紹介
 - ・講話
 - ・閉会のあいさつ



3 成果

- ・環境保全や生活様式について改めて自分の事として課題を提起できた。
- ・今後の地球環境について注意喚起できた。
- ・温暖化政策への取り組みなどわかりやすく伝えられた。

4 課題

- ・レジュメが欲しいという意見があった。

伝統の漆工芸の世界

1 講座の内容

中国漆器の技法を取り入れて発展してきた琉球漆器。南海に浮かぶ小国琉球は、中国・日本の大国との外交に欠かせない朝貢品や献上品、また、王国内の文化を彩る道具として、王朝文化の華といえる漆器を盛んに製作した。明治時代以降は、大和世、アメリカ世と時代のニーズに合わせた漆器が作られた。沖縄の漆工芸が、どのようにして始まり、沖縄が誇る伝統のひとつになったのか。

本講座では漆工芸の歴史や特徴、その魅力についてわかりやすく解説する。

2 講座の概要

- (1) 講師 金城 聡子 氏 (浦添市美術館主任学芸員)
- (2) 日時 令和4年11月25日(金) 14:00~16:00
- (3) 場所 本会場：南部合同庁舎4階会議室
サテライト会場：各教育事務所(国頭・中頭・島尻・宮古・八重山)
※特別サテライト会場：玉城青少年の家・多良間村
- (4) 受講者数 32人(ライブ会場参加者含む)
- (5) 共催 なし
- (6) プログラム
- ・開会のあいさつ
 - ・講師紹介
 - ・講話
 - ・閉会のあいさつ



3 成果

- ・琉球漆器についてその歴史、独自性などが学べた。
- ・写真資料を多数用意し、わかりやすく提供できた。

4 課題

- ・モニター画面が粗くて資料が見えづらい。じっくり見たいのに、画面が切り替わってしまうという問題も。
- ・時間が限られていることもあり、時代を分けて説明するなど工夫が必要であった。

こもんじょ 古文書の読み方 2

1 講座の内容

琉球の歴史や社会が垣間見える古文書。今年2回目となるこの講座では、琉球国時代に国内で作成された古文書を取り上げ、その歴史的な展開と特徴について解説。実際に古文書を数点読み、文章の読み方や文意の取り方を学ぶ。

古文書はいわゆる「くずし字」で書かれており、読解は難しいが、比較的読みやすい古文書を教材とする。前回の講座と同じ資料を活用し、学びを深める。

2 講座の概要

- | | |
|-----------|---|
| (1) 講師 | 麻生 伸一 氏 (琉球大学教授) |
| (2) 日時 | 令和4年12月23日 (金) 14:00~16:00 |
| (3) 場所 | 本会場：南部合同庁舎4階 生涯学習推進センター会議室
サテライト会場：各教育事務所 (国頭・中頭・島尻・宮古・八重山)
※特別サテライト会場：玉城青少年の家・多良間村 |
| (4) 受講者数 | 42人 (ライブ会場参加者含む) |
| (5) 共催 | なし |
| (6) プログラム | ・開会のあいさつ
・講師紹介
・講話
・閉会のあいさつ |



3 成果

- ・古文書ファンたちに定番の講座で、学習意欲が総じて高い。継続希望の声もある。

4 課題

- ・資料が両面コピーだと見にくいという意見があった。リピーターには満足度の高い講座だが、初心者にはやや早すぎてわかりにくいと言う感想もある。

次世代に伝えたい琉球料理

1 講座の内容

琉球王朝時代に中国の冊封使をもてなすための料理が生まれ、宮廷料理として確立した。また、亜熱帯・島嶼の自然環境のもとで育まれてきた家庭料理があり、その双方を源流として現在に受け継がれているのが琉球料理である。その伝統料理を中心に歴史や調理法など、先人が残してくれた沖縄独特の食文化遺産をわかりやすく解説する。

2 講座の概要

- (1) 講師 松本 嘉代子 氏（松本料理学院長）
- (2) 日時 令和5年1月13日（金） 14:00～16:00
- (3) 場所 南部合同庁舎4階 生涯学習推進センター 会議室
- (4) 受講者数 90人（ライブ会場参加者含む）
- (5) 共催 なし
- (6) プログラム
 - ・開会のあいさつ
 - ・講師紹介
 - ・講話
 - ・閉会のあいさつ



3 成果

- ・琉球料理が多様であること、野菜を使った料理が多いことなど、気付きの多い内容だった。身近な食材がテーマなので、老若男女ともに参加者も多く、暮らしに活かせるよう興味のある様子だった。

4 課題

- ・人気講師の講座は飛び入り参加者が多い。受付を済ませずに入場する人もいたのでキャンセルが多いわりに席がほぼ埋まっていた。
- ・電話受付する際は、もしキャンセルする場合は連絡をしてもらえよう一言添える方がよい。

第1回 広域学習サービス講座

国頭教育事務所

やんばる豊かな自然、文化に触れて、いきいきと前向きな暮らしを！
～しまくとうばを未来へ～

1 講座の内容

消滅の危機にある「しまくとうば」をどのようにしたら良い形で、保存・継承することができるか。講座では、海外の他地域の実情と照らし合わせながら、琉球諸語を保存することの意義や大切さを考える。講座を通し、「しまくとうば」から見える郷土の文化、“うちなーんちゅ”の意味について学ぶきっかけ作りとする。また、地域に住む人々と一緒に、「しまくとうば」の継承や保存に向けて、どのような取組ができるかを考える。

2 講座の概要

- (1) 講師 半嶺 まどか 氏 (名桜大学准教授) 麻生 玲子 氏 (名桜大学准教授)
(2) 日時 令和4年10月1日(土) 10:00～12:00
(3) 場所 北部合同庁舎 2階大会議室
(4) 受講者数 21人
(5) プログラム ・開講式
・講話
・ワークショップ
・質疑応答・アンケート



3 成果

- ・世界の言語や日本語としまくとうばを照らし合わせながら学び、言葉の豊かさや面白さ、奥深さを感じることができた。
- ・世界の危機言語を保存・継承する取組例から、しまくとうばの継承について考えることができた。
- ・ワークショップの中で、しまくとうばの継承について自分の考えを交流し合うことで、参加者が自分事として、主体的に考える講座となった。
- ・学生から高齢者まで幅広い年齢層の参加があった。

4 課題

- ・直前の申し込みや当日参加者もいた。その場合は、電話での申し込みで対応することを周知のチラシに添えることなど、案内の工夫を行っていきたい。

第2回 広域学習サービス講座

国頭教育事務所

やんばる豊かな自然、文化に触れて、いきいきと前向きな暮らしを！
～トートーメーの歴史 タブーはなぜ生まれた?!～

1 講座の内容

沖縄は、祖先崇拜の思いが強く年中行事も数多くある。講座では、「トートーメー」の歴史的背景、タブーはなぜ生まれたか、これまで当たり前とされてきた慣習がいかにか家父長制に利用されてきたかなどについて学ぶ。このような学びを踏まえ、今後の「トートーメー」の在り方を考えるきっかけ作りとする。

2 講座の概要

- (1) 講師 宮城 晴美 氏 (沖縄県史編集委員会副委員長 沖縄女性史研究家)
- (2) 日時 令和4年10月15日 (土) 10:00～12:00
- (3) 場所 大宜味村農村環境改善センター
- (4) 受講者数 35人
- (5) プログラム
- ・開講式
 - ・講話
 - ・質疑応答・アンケート



3 成果

- ・トートーメーの話から、その成り立ち、ユタ、沖縄の歴史、女性の活躍等について学びを深めることができた。
- ・身近にあるトートーメーについて、数ある縛りの中で問題をどう乗り越えてきたのかを学ぶことができた。改めて女性の人権についても考えることができた。
- ・大宜味村教育委員会の協力もあり、地域の婦人会や区への周知も行ったことで、大宜味村内からの参加者も多かった。高齢者の方々にとって、講座を自分たちの住む地域で開催すると足を運びやすいという声があった。

4 課題

- ・申し込みが多数だったため、当初予定していた小会議室からホールに移しての開催した。講話形式のため対応は可能だが、会場設営や受付、研修冊子の準備などにゆとりをもてるよう工夫が必要である。

第2回 広域学習サービス講座

国頭教育事務所

**やんばる豊かな自然、文化に触れて、いきいきと前向きな暮らしを！
～トートーメーの歴史タブーはなぜ生まれた?!～**

1 講座の内容

沖縄は、祖先崇拝の思いが強く年中行事も数多くある。講座では、「トートーメー」の歴史的背景、タブーはなぜ生まれたか、これまで当たり前とされてきた慣習がいかに家父長制に利用されてきたかなどについて学ぶ。このような学びを踏まえ、今後の「トートーメー」の在り方を考えるきっかけ作りとする。

2 講座の概要

- (1) 講師 宮城 晴美 氏 (沖縄県史編集委員会副委員長 沖縄女性史研究家)
- (2) 日時 令和4年10月15日(土) 10:00～12:00
- (3) 場所 大宜味村農村環境改善センター
- (4) 受講者数 35人
- (5) プログラム
- ・開講式
 - ・講話
 - ・質疑応答・アンケート



3 成果

- ・トートーメーの話から、その成り立ち、ユタ、沖縄の歴史、女性の活躍等について学びを深めることができた。
- ・身近にあるトートーメーについて、数ある縛りの中で問題をどう乗り越えてきたのかを学ぶことができた。改めて女性の人権についても考えることができた。
- ・大宜味村教育委員会の協力もあり、地域の婦人会や区への周知も行ったことで、大宜味村内からの参加者も多かった。高齢者の方々にとって、講座を自分たちの住む地域で開催すると足を運びやすいという声があった。

4 課題

- ・申し込みが多数だったため、当初予定していた小会議室からホールに移しての開催した。講話形式のため対応は可能だが、会場設営や受付、研修冊子の準備などにゆとりをもてるよう工夫が必要である。

第3回 広域学習サービス講座

国頭教育事務所

**やんばる豊かな自然、文化に触れて、いきいきと前向きな暮らしを！
～やんばる自然散策 おいしい野草を見つけよう～**

1 講座の内容

名護城公園内でやんばるの自然に触れ、身近にあるおいしい野草をみつけたり、生き物を見つれたりしながら散策した。ふだんよく目にする植物のほとんどを食することができるという講師の話に、受講者の方々も驚いたり興味深く聞き入ったりしながら、野草を見つけ採取していた。天気にも恵まれ、涼しい風と共に秋を感じながら歩くなど充実した講座となった。

2 講座の概要

- (1) 講師 比嘉 正一 氏 (NPO法人沖縄有用植物研究会理事)
 (2) 日時 令和4年11月26日(土) 10:00～12:00
 (3) 場所 名護城公園 せせらぎ広場
 (4) 受講者数 15人

- (5) プログラム
- ・開講式
 - ・講座
 - ・質疑応答・アンケート



3 成果

- ・ふだん当たり前にある植物についてあまり関心をもたず過ごすことが多かったが、新たな知識を得られ、楽しむことができた。
- ・散策を通して、参加者の交流をひろげることにつながった。
- ・自然の豊かさを感じるとともに、この自然を大切にしていくためにできることについて考えるきっかけとなった。
- ・子どもから高齢者までの参加があったが、講師の配慮により無理のないコースで、誰でも楽しめる充実した講座であった。

4 課題

- ・雨天の際の対応について
- ・当日、参加希望があった。事前の周知や申し込み受付の際に、参加の仕方などの説明をよりしっかりと行って行く必要がある。

第4回 広域学習サービス講座

国頭教育事務所

やんばる豊かな自然、文化に触れて、いきいきと前向きな暮らしを！
～いきいきヴォイストレーニングで朗らかに♪～

1 講座の内容

歌うことを楽しみながら呼吸法・ストレッチ・発声について学ぶ。また、童謡や唱歌を始め、様々なジャンルの曲に親しみながら、自信をもって楽しく歌うことを味わう内容となった。歌うことを通し、心と体がしだいにほぐれていくのを自分自身で感じ、これまで以上に音楽のよさや素晴らしさを感じることものできる講座となった。

2 講座の概要

- (1)講師 宮城 美幸 氏 (声楽家)
(2)日時 令和4年12月10日 (土) 10:00～12:00
(3)場所 もとぶ文化交流センター
(4)受講者数 23人

- (5)プログラム
- ・開講式
 - ・講座
 - ・質疑応答・アンケート



3 成果

- ・発声を通し、心と身体をリラックスさせる方法や、親しみのある曲を歌い味わう楽しさを声楽のプロから直接学ぶことのできるとてもいい機会になった。
- ・歌の好きな親子、初心者、地域の歌声サークルに参加している方々まで幅広く参加していた。
- ・地域の広報誌を活用し、講座案内を行ったため、講座開催地の方々が多く参加していた。初めて県民カレッジを受講する方も多く、好評だった。

4 課題

- ・館内が広く、講座を開催する研修室の場所に迷う人がいた。入り口の表示だけでなく案内板を数カ所に設置する必要がある。

はじめてのバルーンアート

1 講座の内容

子供から大人まで皆を笑顔にするバルーン。ふくらませ方から結び方、そして細長いバルーンを使った作品作りの基礎をレクチャー。

2 講座の概要

- (1) 講師 仲宗根 麗 氏 (世界公認バルーンアーティスト)
- (2) 日時 令和4年11月27日(日) 10:00~12:00
- (3) 場所 中頭教育事務所
- (4) 受講者数 17人(子供5人含)
- (5) 共催 なし
- (6) プログラム
 - ・開講式
 - ・バルーンの膨らませ方レクチャー
 - ・作品作り実践



3 成果

- ・子供でもできるように丁寧にレクチャーされていた。
- ・みんなが笑顔で楽しい雰囲気の中で作品づくりをし、アンケートからも満足度が高かった。
- ・子供会のイベントなど講座後にも活かせるような内容であった。
- ・お隣同士や親子で助け合いながら作品づくりをし、温かいコミュニケーションがあった。

4 課題

- ・当日、3組のキャンセルがあった。
- ・半数以上の参加者が時間通りに会場に集まらなかったため10分遅れでスタートした。今後、会場までの案内を分かりやすく伝える必要がある。

第2回 広域学習サービス講座

中頭教育事務所

絵本は心の処方箋～大人のための絵本セラピー～

1 講座の内容

絵本セラピーとは、絵本を読み、絵本の内容に沿ってグループワークを進めていくことで、心が楽になったり、深い気づきを得ることのできるプログラムです。絵本は子どものためだけでなく、大人が読むと涙を流すほどの深い心理学要素がたくさんつまっています。人間関係、仕事、パートナーシップ、人生の悩みにも寄り添ってくれます。講座を通して、絵本が持つ深い心理学的世界を体験できます。

2 講座の概要

- (1) 講師 永元 深智 氏 (絵本セラピスト・作家)
- (2) 日時 令和4年12月3日(土) 10:00～12:00
- (3) 場所 中頭教育事務所
- (4) 受講者数 19人
- (5) 共催 なし
- (6) プログラム
 - ・ 開講式
 - ・ 講話
 - ・ 絵本朗読
 - ・ グループワーク



3 成果

- ・ 絵本を通して人生を振り返り、涙や笑いのある講座であった。
- ・ グループワークで自分自身が気が付かなかったことに気付くことができた。
- ・ グループで話し合い楽しく心がほっこりできる時間になった。
- ・ 想像以上に楽しく、癒やされ、感動の時間を過ごすことができた。

4 課題

- ・ 当日3名のキャンセルがあった。
- ・ 受講者から会場がわかりにくいとの声があった。今後分かりやすく伝える必要がある。
- ・ 講座修了後のアンケートや書籍販売に時間がかかった。

暮らしのヨーガ

1 講座の内容

「今、ここ」を意識して呼吸、カラダ、心に集中して感じてみることを大切にするヨガ。「そのままのわたし」のホームを体験できる機会をお届けします。

2 講座の概要

- (1) 講師 タユフェール 美弥 氏 (インド中央政府認定ヨーガセラピスト)
- (2) 日時 令和4年12月4日(日) 10:00~12:00
- (3) 場所 中頭教育事務所
- (4) 受講者数 13人(子ども3人含)
- (5) 共催 なし
- (6) プログラム ・開講式
 ・アンケート(体の状態をチェック)
 ・ヨガ実践



3 成果

- ・初めての方や子供にも分かりやすく指導され実践できた。
- ・運動だけでなく精神面にも良い効果が期待されるヨガを知る機会となった。
- ・心も体もリラックスしてリフレッシュできた。

4 課題

- ・ヨガマットを忘れて参加された方がいたので、募集時にもっと分かりやすく周知することを心がける。
- ・着替えするスペースの要望があった。
- ・講座のチラシやパンフレットの配布場所を知りたいという声があった。県民が入手しやすい場所に配布できるようにする。

第4回 広域学習サービス講座

中頭教育事務所

平和フィールドワーク ～沖縄の過去・現在・未来をみつめて～

1 講座の内容

読谷村波平にあるチビチリガマでは、沖縄戦当時の1945年4月2日、ガマの中に避難していた住民約140人中83人が“集団自決”した。
同じ波平にあり、チビチリガマから約800メートル離れたシムクガマで、避難していた住民約1000人の中から一人の“自決”者も出さなかった。この対照的な二つのガマの住民の体験を通して、沖縄戦とは何だったのかを考える機会とする。

2 講座の概要

- | | |
|-----------|--|
| (1) 講師 | 比嘉 涼子 氏 (地域ガイド風の会) |
| (2) 日時 | 令和4年12月11日 (日) 10:00～12:00 |
| (3) 場所 | 読谷村チビチリガマ |
| (4) 受講者数 | 22人 |
| (5) 共催 | なし |
| (6) プログラム | <ul style="list-style-type: none"> ・ 開講式 ・ 講話 ・ 受講者全員による黙祷 ・ 閉講式 |



3 成果

- ・ ガマで起こったことの背景など説明があり、より理解が深まった
- ・ 講師の方の思いが伝わる内容だった
- ・ 沖縄戦の流れが分かりやすかった
- ・ 命どう宝の思いが強く感じられた
- ・ 教科書や本だけでは分からないようなことも知ることができた

4 課題

- ・ 当日の持ち物に「敷物」
- ・ 雨天時の対応⇒雨天の場合は、〇〇〇センターにて講話を行うことをチラシに記載する

バックヤードツアー 沖縄県立博物館・美術館

1 講座の内容

バックヤードツアー・学芸員による展示説明

2 講座の概要

- (1)講師 玉城 早苗 氏 (沖縄県立博物館・美術館主任学芸員)
- (2)日時 令和4年8月9日 (火) 13:30~16:00
- (3)場所 沖縄県立博物館・美術館
- (4)受講者数 20名
- (5)共催 なし
- (6)プログラム
 - ・開講式 講座の説明 講師紹介
 - ・美術館バックヤード見学 (A班) 博物館バックヤード見学 (B班)
 - ・休憩
 - ・博物館バックヤード見学 (A班) 美術館バックヤード見学 (B班)
 - ・閉講式 アンケート記入・記念撮影など



3 成果 (感想)

- ・普段入る事の出来ない場所、貴重な資料展示物が、見学できて大変楽しかった。
- ・クイズなどあり、楽しく学べた。
- ・裏側を見れて、とても楽しく、専門家のお話が、とても勉強になりました。
- ・夏休み子供と一緒に楽しく学べた。

4 課題

特になし。

SUP&カヌー 講座

1 講座の内容

SUP&カヌー講座

2 講座の概要

- (1) 講師 福島 誠司 氏 (沖縄県総合運動公園所長)
- (2) 日時 令和4年10月22日(土) 9:30~13:00
- (3) 場所 沖縄県総合運動公園 50mプール
- (4) 受講者数 31名
- (5) 共催 なし
- (6) プログラム
 - ・ SUP、カヌーの乗り方説明
 - ・ 各自SUP&カヌーの体験
 - ・ 食事(中華粥)
 - ・ 集合写真撮影
 - ・ 着替えて 解散



3 成果(感想)

- ・ SUPは初心者が多かったが、乗って進むことが出来た。
- ・ カヌーの乗り方、入水時の舟への上り方など、勉強になりました。
- ・ 期待以上の楽しさで、とても楽しかったので、またチャレンジしたいです。

4 課題

- ・ 募集枠(人数)少なく、直ぐ締め切られる(受講者)
- ・ 当日雨の予報で、開催出来るか心配だった。
- ・ 寒くなる時期なので、開催日の検討も必要。

第4回 広域学習サービス講座

那覇教育事務所

魚料理講座

1 講座の内容

魚料理講座

2 講座の概要

- (1)講師 福島 誠司 氏 (沖縄県総合運動公園所長)
- (2)日時 令和4年11月12日(土) 9:30~13:00
- (3)場所 沖縄県総合運動公園 郷土館
- (4)受講者数 29名
- (5)共催 なし
- (6)プログラム
 - ・魚料理の説明 ぶりの捌き方 包丁の種類 釜の焚き方 など
 - ・薪割り
 - ・食事(魚料理) アンケート記入
 - ・集合写真撮影
 - ・解散



3 成果(感想)

- ・生・焼き・スモーク・煮物など色々な料理の魚を食せたこと。
- ・鮎の塩焼き初めて食べました。
- ・魚の捌き方や、皮の剥いたり、親子で体験出来よかった。
- ・薪割りが楽しかった。

4 課題

- ・テーブルの人数が違ったため、食料の分配が難しかった。
(グループ単位での申し込みが良い。)
- ・小さい魚でも良いので、各テーブルに一尾あって捌き方を各自出来ると良い。

～『島尻は一つ』魅力ある地域の再発見～

1 講座の内容

自然や歴史・文化に触れる講話や体験等を通して、受講者が主体的にまちづくりに参画できる資質を育てる。

2 講座の概要

- (1) 講師 赤嶺 秀義 氏 (豊見城龍船協会事務局長)
宮城 靖子 氏 (沖縄野鳥の会会員)
池村 浩明 氏 (漫湖水鳥湿地センター 職員)
- (2) 日時 令和4年10月13日 (木) 13:30～16:30
- (3) 場所 漫湖水鳥湿地センター
- (4) 受講者数 17人
- (5) 共催 豊見城市教育委員会
- (6) プログラム
- ・現地集合
 - ・開講式
 - ・講話①「豊見城とハーリー」 講師：赤嶺秀義 氏
 - ・講話②「古(いにしえ)と世界へ繋ぐ豊見城」～漫湖の鳥たち～
講師：宮城靖子 氏
 - ・野鳥観察 講師：宮城靖子 氏、池村浩明 氏
 - ・現地解散



3 成果

- ・開講式で、おきなわ県民カレッジ事業についての行政説明や主催者・共催地教育長のあいさつを通して、県民カレッジの意義について理解を深め、受講者の意欲を高める事ができた。
- ・地域でハーリー発祥地である豊見城の良さや歴史、ハーリーの由来等について講話を通して普及活動をしている赤嶺氏や、飛来してくる野鳥たちの姿から環境保全や国際平和にまで視野を広げた宮城氏の講話を拝聴し、受講者が自身の地域づくりを見つめ直す機会となった。今後、さらに活動のヒントに繋げることを期待したい。

4 課題

- ・会場が大通りに面しておらず受講者に分かりにくかったようであり、道中の目印になるよう県民カレッジののぼり旗を各ポイントに設置するべき。

～『島尻は一つ』魅力ある地域の再発見～

1 講座の内容

自然や伝統文化に触れる講話や体験等を通して、受講者が主体的にまちづくりに参画できる資質を育てる。

2 講座の概要

- (1) 講師 池原 幹人 氏 (玉藍工房代表)
藤沢 和枝 氏 (玉藍工房職員) 深沢 さやか 氏 (玉藍工房職員)
- (2) 日時 令和4年10月20日 (木) 13:30～16:30
- (3) 場所 おきなわ工芸の杜
- (4) 受講者数 16人
- (5) 共催 豊見城市教育委員会
- (6) プログラム
- ・現地集合
 - ・講話③「琉球藍について」 講師：池原幹人 氏
 - ・実習①「ハンカチ藍染め」 講師：藤沢和枝 氏、深沢さやか 氏
 - ・おきなわ工芸の杜資料館見学
※実習体験会場の都合により、実習と資料館見学を2班に分け、
入れ替え制で行った
 - ・現地解散



3 成果

- ・豊見城といえばウージ染めが認知されているが、南部地域に伝統ある「琉球藍」が存在する。「琉球藍」の歴史や藍の育て方から刈り取り作業、染料をつくる工程等学び、藍作りの苦労や職人の情熱に触れ、人間の知恵や工夫を知ることができた。さらに、ハンカチ染め体験を通して、伝統技術の継承の大切さを実感し、地域に素晴らしい伝統技術が継承されていることへの誇りを感じられた。
- ・おきなわ工芸の杜施設に初めて訪れる受講生も多く、「多くの人に活用してもらいたい、知ってもらいたい」という声が挙がり、豊見城の良さを広めたいとの意識が高まった。
- ・2つのグループに分けることで短時間で幅広い学びができ、密を緩和することもできた。

4 課題

- ・特になし

～『島尻は一つ』魅力ある地域の再発見～

1 講座の内容

沖縄の食材を生かしたお菓子づくりの実習等を通して、受講者が主体的に地域づくりに参画できる資質を育てる。

2 講座の概要

- (1) 講師 砂川 一義 氏 (南部農林高等学校教諭)
- (2) 日時 令和4年10月26日 (水) 13:00～16:00
- (3) 場所 南部農林高等学校
- (4) 受講者数 16人
- (5) 共催 豊見城市教育委員会
- (6) プログラム
- ・現地集合
 - ・高校3年生によるガトーショコラケーキ作りの手順説明
 - ・生徒解説及び支援によるケーキ作り
 - ・学科紹介及び質疑応答、感想交流
 - ・現地解散



3 成果

- ・講師のポイントとなる分かりやすい説明や資料の提供、生徒たちの丁寧なサポートや手際によさもあり、時間内にスムーズに実習を終えることができた。
- ・生徒たちとの交流を通して、受講者にとっても楽しい時間を過ごすことができ、家庭や地域に戻ってからのお菓子づくりに生かすことができたようだ。さらに、生徒たちも受講生に美味しいケーキを作ってもらえるように試行錯誤を積み重ねたということで、技術面の向上にもつながり、今後の活動・学習にも還元できるという感想も多く出た。
- ・当日、急な欠席者も出たが、知り合いの方に持ち帰りをお願いし、出来上がったケーキを届けてもらった。

4 課題

- ・特になし

～『島尻は一つ』魅力ある地域の再発見～

1 講座の内容

花のある生活を楽しむことや寄せ植えの実習等を通して、受講者が主体的に地域づくりに参画できる資質を育てる。

2 講座の概要

- (1) 講師 奥松 直樹 氏 (南部農林高等学校教諭)
- (2) 日時 令和4年11月16日 (水) 10:00～12:00
- (3) 場所 南部農林高等学校
- (4) 受講者数 16人
- (5) 共催 豊見城市教育委員会
- (6) プログラム
- ・現地集合
 - ・奥松先生による寄せ植えの手順説明及び土づくり、花選定
 - ・生徒支援による草花及びハーブの寄せ植え実習 (9号鉢の一人2鉢)
 - ・学科紹介
 - ・現地解散



3 成果

- ・生徒たちとのコミュニケーションを楽しみながらイメージを膨らませて草花選定や配置を工夫し、寄せ植えの活動ができた。
- ・受講生が生徒たちのこれまで培った技術と的確なアドバイスをもらいながら、それぞれが満足いく作品に仕上がったようだ。
- ・土づくりから始め、1年草や多年草を入れ混ぜての寄せ植え作りを通して、色とりどりの花々が身近な生活に潤いを与え、地域を活性化させることにつながるという感想も挙がった。

4 課題

- ・特になし

～『島尻は一つ』魅力ある地域の再発見～

1 講座の内容

琉球の歴史に触れる講話を通して、子や孫の世代に継承する心を育み、受講者が主体的に地域づくりに参画できる資質を育てる。

2 講座の概要

- (1) 講師 國吉 卓 氏 (沖縄ジョン万次郎の会会員)
- (2) 日時 令和4年12月15日 (木) 9:00～12:00
- (3) 場所 豊見城市立中央公民館
- (4) 受講者数 20人
- (5) 共催 豊見城市教育委員会
- (6) プログラム
 - ・現地集合
 - ・「豊見城とジョン万次郎」のテーマのもと國吉卓さんの講話
 - ・ジョン万次郎の生き様についてDVD視聴
 - ・質疑応答
 - ・閉講式
 - ・現地解散



3 成果

- ・「ジョン万次郎」について関心が高く、これまでの学びに新しい発見や新たな解釈が加わり、万次郎が滞在した豊見城に誇りを感じることもできた。
- ・ジョン万次郎会の活動を知ること、地域を愛する思いや地域の良さを広め伝える活動を通して地域おこしの大切さに気づくこともできた。
- ・閉講式において、主催者、館長からの激励のあいさつを頂き、受講者の地域づくりへの意識の高揚につながった。

4 課題

- ・島尻地区では全講座セットで申し込んでいるが、本講座のみ飛び込み希望者が複数名いたため、今後の運営の仕方を見直し、次年度の持ち方を検討する。

第1回 広域学習サービス講座

宮古教育事務所

神と御嶽と開発

1 講座の内容

2022年は復帰から50年、宮古にも様々な影響を与えた。今年を「復帰50年宮古にもたらしたもの」とし、1回目として、下記の案件を実施する。72年の復帰以来宮古にも開発の波が押し寄せ、御嶽等の聖域にも影響が及んでいる。開発によって宮古の神及び御嶽にもたらされた変化と影響を佐渡山安公氏と現役のカンカカリヤである根間忠彦氏に語ってもらった。

2 講座の概要

- (1) 講師 ①佐渡山 安公 氏 (宮古伝承文化研究センター所長)
②根間 忠彦 氏 (現役カンカカリヤ)
- (2) 日時 令和4年5月28日 (土) 13:30～16:30
- (3) 場所 宮古教育事務所
- (4) 受講者数 17人
- (5) 共催 なし
- (6) プログラム ・宮古教育事務所 所長 開会挨拶
・講義①失われ行く宮古の自然と祭祀；佐渡山安公氏
②宮古の聖域の現状；根間 忠彦氏
③質疑応答・アンケート記入後解散



佐渡山 安公 氏による講義

根間 忠彦 氏による講義

演題：失われ行く宮古の自然と祭祀

3 成果

前回の講座が好評であった佐渡山氏、及び現役のカンカカリヤ（ユタ）である根間氏が講師であることもあり、参加者が多く、今回も好評であった。以下、アンケートからの抜粋

- ・改めてシマの文化を知る機会となった。1990年代初めに行われていた各地の祭祀をビデオで紹介。改めてなくなった精神文化の貴重さを知る。
- ・内容は、現在自身が自治会役員時に感じた祭祀の未来に対する不安や危惧を共有できるもので大変良かった。
- ・根間さん、佐渡山さんお二人ともにとっても感慨深い話でした。

4 課題

- ・開発の影響を受けた御嶽の視察を予定していたが、連日の大雨で中止となった。残念とのコメントがいくつかあったので、講座開催前に事前の連絡をする必要がある
- ・直前にキャンセルしたり、申し込みをしながら参加しない人が今回もいたので、定員より少し多めに参加希望者を受け付ける等の対応をしたい。

南海トラフ大地震と宮古

1 講座の内容

最初に宮古島気象台長の講義により同気象台の歴史を学習した。
その後、最近日本全国で地震が多発しており、南海トラフ大地震と南西諸島海域における地震の関連が注目されているので、それらを学習し、気象台敷地内に設置されている地震計等の気象観測機器を視察することにより、自然災害発生時の被害の防止・減少に資した。

2 講座の概要

- | | |
|-----------|---|
| (1) 講師 | (1) 林 和彦 氏 (宮古島地方気象台長)
(2) 西銘 司 氏 (宮古島地方気象台南海トラフ地震防災官) |
| (2) 日時 | 令和4年7月17日 (日) 13:30~16:30 |
| (3) 場所 | 宮古島気象台 |
| (4) 受講者数 | 24人 |
| (5) 共催 | 宮古島地方気象台 |
| (6) プログラム | ・宮古教育事務所 与那覇主事 開会挨拶等
・講義①宮古島地方気象台の歴史：林 和彦氏
②南海トラフ大地震と宮古：西銘 司氏
③気象台敷地内の気象観測機器を視察、アンケート記入後解散 |



林所長による講義



西銘防災官による講義

3 成果

今回は宮古島気象台のご厚意により同所で講座を実施した結果、気象台への入場を期待した参加者もいて、最近にない多くの方が参加した。以下、アンケートからの抜粋する。

- ・宮古に住んで20年余ですが、気象台は初めてです。いろいろ勉強になりました。
- ・受講動機は、気象台に入れる!!のが一番、大変勉強になりました。
- ・とても良かった。気象台が情報だけでなく、地震についても情報を収集し提供していることに感謝！災害に対して十分備えておきたいと思います。
- ・林台長の「地震はどこでもおこりうると考えるべき」というのは大切だなと思いました。

4 課題

- ・講師が作成した講義資料がパワーポイントの相当枚数に上り、縮小コピーを配布した。参加者に高齢者が多く、配布資料が小さいとの意見が何件かあった。今後パワーポイントのコピー配布について検討する必要があると考える。
- ・現場に興味があって参加した方が多いので、可能な限り、今後も現場での講座の実施を検討したい。

第3回 広域学習サービス講座

宮古教育事務所

地下ダムをもっと知ろう！

1 講座の内容

宮古島における復帰後最大の事業は、三大大橋の完成と、地下ダムの建設、それに伴う農地整備事業であろう。本講座では、地下ダムの完成までには多くの関係者が関わっており、彼らの功績を忘れないためにも、地下ダムの先駆者たちに関わる講義を、池城氏が行った。また、宮古島の地質、地下ダムの建設技術や構造、地下水のメカニズム等について地下ダム資料館において、藤田氏の説明のもとで学習した。なお、参加者には4カ所のダムカードが資料館より贈呈された。

2 講座の概要

- (1) 講師 ①藤田 滋 氏 (地下ダム資料館)
②池城 直 氏 (宮古教育事務所生涯学習コーディネータ)
- (2) 日時 令和4年10月1日(土) 13:30～17:30
- (3) 場所 宮古教育事務所
- (4) 受講者数 20人 (なお、新聞社2社、テレビ局1社より取材あり)
- (5) 共催 地下ダム資料館
- (6) プログラム
- ・宮古教育事務所 与那覇社会教育主事 開会挨拶等
 - ・講義 「地下ダムの先駆者たち」：池城 直 氏
 - ・視察 「宮古島地下ダム資料館」：藤田 滋 氏
 - ・皆福地下ダム公園視察、アンケート記入後解散



池城氏による講義



藤田氏(右から二人目)による福里ダムの説明

3 成果

地下ダム資料館は市内から離れた所にあり、宮古島市民でも訪ねた人は少ないので今回の講座を機会に参加した人が多かった。以下、参加者のアンケートからの抜粋。

- ・分かりやすく、とてもためになった。多くの人に聞いてもらいたい。
- ・今まで知らなかった歴史やダムについて知れたのでとても良かった。
- ・宮古の地下の構造も分かりやすくて、勉強になりました。
- ・地下ダムの歴史を初めて理解しました。感謝です。私のところは農家で以前は水くみ半日の農家でした。

4 課題

- ・特にありません。

第4回 広域学習サービス講座

宮古教育事務所

石橋の歴史と後世に残したい島尻入江橋

1 講座の内容

宮古の古い橋としては、下地の池田疋が有名であるが、島尻にも古い橋がある。復帰後は新たに宮古本島と各離島を結ぶ三大大橋ができたが、世界の石橋の歴史と島尻の入江橋について講義を聞き、実際に現場の橋の視察を行うことにより、橋の学習を行った。また、入江の対岸への行き来に困難をきたしていた人々のために、橋を建築したと言われる四島之主の墓2カ所を訪ね、伝説の歴史に触れることができた。

2 講座の概要

- (1) 講師 来間 玄次 氏 (技術士・農学博士 多良間村政策参与)
- (2) 日時 令和4年10月29日 (土) 13:30~17:30
- (3) 場所 (1) 講義：宮古教育事務所
(2) 視察：①島尻入江橋、②四島之主の墓2基
- (4) 受講者数 14人 (なお、新聞社1社の取材あり)
- (5) 共催 なし
- (6) プログラム ・宮古教育事務所 与那覇主事 開会挨拶等
・講義 「石橋の歴史と後世に残したい島尻入江橋」：来間 玄次氏
・視察 「島尻入江橋」及び「四島之主の墓」2基：来間講師説明



来間氏による講義



来間 講師(右端) が島尻橋の説明



四島之主の墓視察

3 成果

講師は、写真や図面(橋の設計図)を活用し、96枚ものパワーポイントで講義を行った。講義後は実物の橋や、古代石橋を建築したとの伝説がある四島之主の墓2基を訪ね宮古の歴史に触れることができ、参加者は大いに満足した。以下は、アンケートからの抜粋である。

- ・豊富な資料を基にした話は貴重である。長年の研究の跡で素晴らしい。
- ・専門の見地から石橋文化を学ばせていただきました。感謝です。
- ・資料の図面がきれいでした。講師の話も、詳しく説明していたので良かった。
- ・石橋について貴重な報告、内容。難しかったが勉強になりました。

4 課題

- ・これまでの欠席率は1割程度であったが、今回は申し込み者24人のうち4割弱にあたる9人が欠席した。市主催で大々的に開かれていた「宮古島市文化祭」に流れた可能性が高いと思われるが、定員オーバーで断っていたこともあり、残念である。県民カレッジ開催直前に参加の再確認をする等、今後の対応を考えたい。
- ・若者の参加が少ない。無料のタウン誌に広告をお願いしたりしているが、対策を考えたい。

第5回 広域学習サービス講座

宮古教育事務所

世界の友と料理を作ろう！

1 講座の内容

現在宮古島にも多くの国の人が居住していて、国際化が進んでいる。そこで、宮古に在住する外国人と宮古島市民が直接交流し、触れ合う機会を設けることにより、相互理解を促進する。それに加えて、各国の料理を一緒に調理し、食することにより食の文化交流を通じ、国際理解を養う一助とする。

2 講座の概要

- (1) 講師 ①インドネシア ; Mr. Miftakul Mufid, Mr. Wisnu Dwi Nugroho
②スリランカ ; Mr. Amarakoonge Don Damian
- (2) 日時 令和4年12月3日(土) 13:30~17:00
- (3) 場所 講義、調理共に：宮古青少年の家
- (4) 受講者数 22人(なお、新聞社2社の取材あり)
- (5) 共催 宮古青少年の家
- (6) プログラム ・宮古教育事務所 与那覇主事 開会挨拶等
・講義①Mr. Wisnu;インドネシア紹介、②Mr. Don Damian;スリランカ紹介
・調理①Mr. Mufid;インドネシア料理、②Mr. Don Damian;スリランカ料理



Mr. Wisnu ; インドネシア紹介



Mr. Damian ; スリランカ紹介



Mr. Mufid ; インドネシア料理完了

3 成果

2年ぶり、3度目の「世界の料理」であったが、毎回評判がよく、今回も欠席者はいなかった。親子での参加が多く、宮古に在住する外国人への理解が深まったことを期待したい。以下、アンケートからの抜粋です。

- ・楽しかったです。島で外国の料理を勉強できること、話せること、とってもよい体験でした。またやってほしい!!
- ・普段知ることのできない国やその料理について知れて楽しかったです。講師もフレンドリーで良かったです。
- ・興味ある内容で、講師も親切になんでも答えて頂き、すごく良かったです。

4 課題

- ・講義会場から調理場への参加者の移動、食材の運搬・準備等に少々時間がかかり、参加者を少し待たすこととなった。もう少し段取り良くとのコメントも頂いたので、次回は段取り良くしたい。
- ・各国紹介の時に映像を流したかったが、会議室にWi-Fiがなく、できなかった。このような場合の対策を検討したい。

第1回 広域学習サービス講座

八重山教育事務所

**暮らしを彩る「自然・文化」への学び
～島の木と私たちの暮らし（有用樹木の講話・木工細工）～**

1 講座の内容

八重山では、建物資材や家具、生活用具（民具）など人の暮らしに役立ててきた有用樹木は70種も挙げられる。本講座でその有用樹木の40種について学ぶ。内容は、有用樹木とする40種がこれまで島の暮らしにどのような関わり方をしてきたのか、また木材にしたときその材質や色、耐久力など、講師の経験に基づいた島材の魅力を学ぶ。体験にはテリハボク材を用いた木皿を制作する。

2 講座の概要

- (1)講師 戸眞井 擴 氏（トマイ木工所・代表）
(2)日時 令和4年9月25日（日） 13:00～16:00
(3)場所 沖縄県立石垣青少年の家
(4)受講者数 36人
(5)共催 なし
(6)プログラム ・開講のあいさつ
・講話「島の木と私たちの暮らし」
・実習「テリハボク素材の皿の制作」
・質疑応答



3 成果

- ・有用樹木40種を木皿にした見本を用いて、木の名前の由来から木の特徴に至るまで、一つひとつ丁寧な説明で分かり易かった。
- ・テリハボクは屋敷まわりにあり身近な存在だが、実際、木材にしたものを今回の講座で、木工体験ができたことはとても良かったと思う。
- ・幼少期から祖母と山に入り、たくさんのことを習い、現在も生業とする講師の話聞き、「島の自然の豊かさをあらためて知る機会だった。」と参加者のコメントが多くあった。

4 課題

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当初予定した時から何度か開催日を延期することになったが、それでも受講者は開講を待ち望み、当日は全員参加であった。

暮らしを彩る「自然・文化」への学び ～暮らしの中に活かす茶道の心Ⅰ～

1 講座の内容

日常生活における自己の立ち居ふるまいや、他者との関係、自然との関係の在り方について、茶道の心を通じ、新たな気付きや学びの場とする。内容は、茶道の歴史、お茶の種類、茶碗の選び方、茶の作法、つくばいの使い方、にじり口からの入室の仕方、茶席（床、軸、花、茶道具）の拝見の仕方、お菓子、お茶の頂き方等、一連の茶道所作を体験を通して学ぶ。

2 講座の概要

- (1) 講師 川平 孝子 氏（表千家正師範）
- (2) 日時 令和4年10月8日（土） 13:00～16:00
- (3) 場所 表千家不白流 清河庵
- (4) 受講者数 14人
- (5) 共催 なし
- (6) プログラム
 - ・講話「茶道の流派、お茶の話」
 - ・実習「茶席の拝見、お菓子、お茶の頂き方、つくばいの使い方」
 - ・質疑応答



3 成果

- ・来客へおもてなしをする際、お茶の出し方一つを取り上げても、単なるお茶を出すという所作がもてなす人、又うけとる側の心の表現をいかに表現するか、茶道の所作でこれらを学ぶ機会になった。
- ・生活の様々な場面でこれまで無意識にあったものが、受講したことにより、新たな気づきとなり、今後は得た知識を活かしたいと受講後の声があった。
- ・茶花に生けられたものは、身近な野草だった。慌ただしい日々の中に自然の営みに目をやり、植物を愛おしむことの大切さなど、心に響くことが多い内容であった。

4 課題

- ・コロナ禍における感染症対策の徹底

暮らしを彩る「自然・文化」への学び
～暮らしの中に活かす茶道の心Ⅱ～

1 講座の内容

生活所作は言葉とも等しく、人が生活する中で重要なコミュニケーションツールである。引き続き、第Ⅱ部でも、茶道の所作を体験する。庭のつくばいで身を清める所作、にじり口から茶室に入り、茶をいただき、掛け軸と茶碗、お花の鑑賞を体験。次におじぎ手の組み方、来客への菓子、茶の出し方。お箸の扱い、皿のもち方など、講師の実演に合わせて所作を学習する。

2 講座の概要

- (1) 講師 川平 孝子 氏 (表千家正師範)
- (2) 日時 令和4年10月9日(日) 13:00～16:00
- (3) 場所 表千家不白流 清河庵
- (4) 受講者数 14人
- (5) 共催 なし
- (6) プログラム ・実習「おじぎの仕方、手の組み方、来客へのお菓子、お茶の出し方など」
・質疑応答



3 成果

- ・日常において自信のないやり方などが、茶道所作の学びを得たことにより、たくさんを知ることができた。
- ・講師の実演は、はっきりとした口調で説明がとてもわかり易く、茶道所作を初体験の人でも、親しみやすかった。
- ・受講者からこの内容の講座を多くの人に、体験させてほしいと多くの要望があった

4 課題

- ・今回、開催場所が住宅街の中にある講師の茶室で行われたこともあり、駐車確保が問題となった。次回開催はそうしたことを視野に入れた検討が望ましい。

暮らしを彩る「自然・文化」への学び
～身近な植物を描いてみよう～

1 講座の内容

植物をよく観察し、果実の断面や葉の形などをありのままに、植物学的な要素を取り入れて、かつ美しく描くのがボタニカルアートである。今回は身近な季節の花「アメリカハマグルマ」を題材にして、ボタニカルアートの描くコツを楽しく学ぶ。

2 講座の概要

- (1) 講師 橋爪 雅彦 氏 (株式会社川平ファーム代表取締役)
- (2) 日時 令和4年10月23日(日) 13:00～16:00
- (3) 場所 石垣青少年の家 大研修室
- (4) 受講者数 26人
- (5) 共催 なし
- (6) プログラム
 - ・実習 身近な植物「アメリカハマグルマ」を描いてみよう
 - ・質疑応答



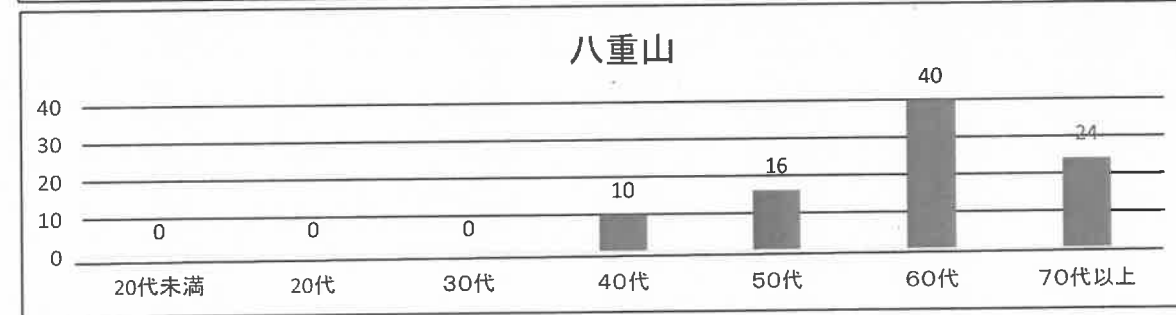
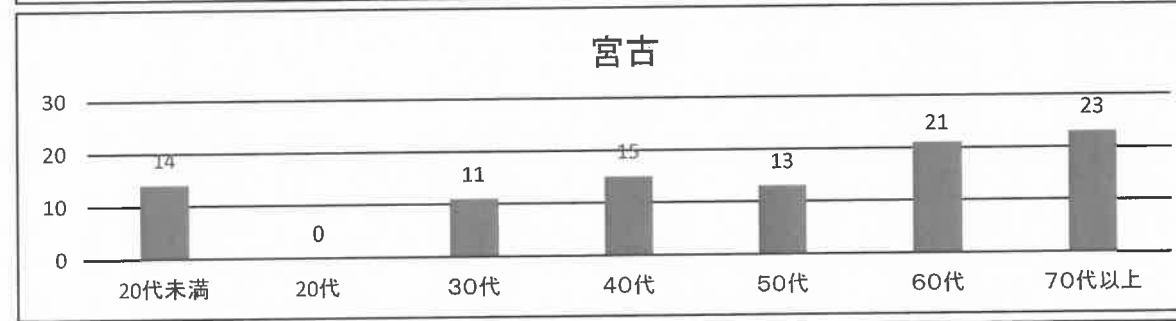
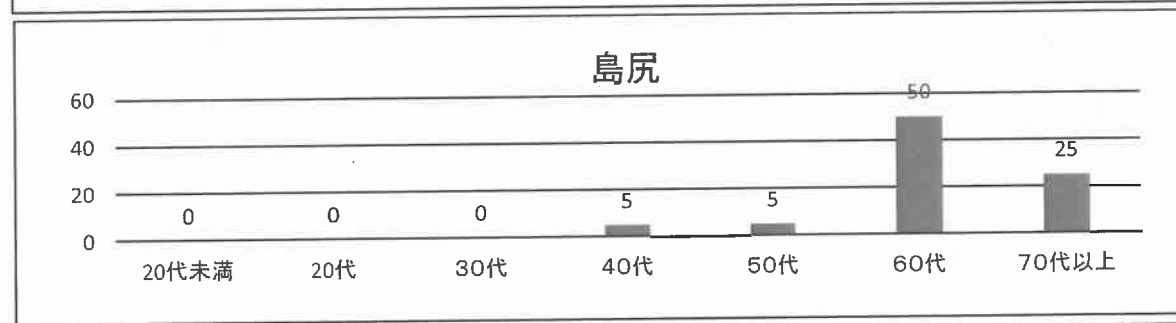
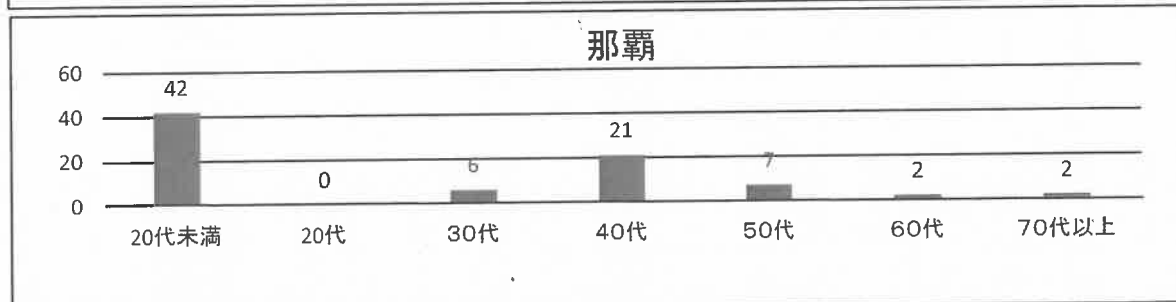
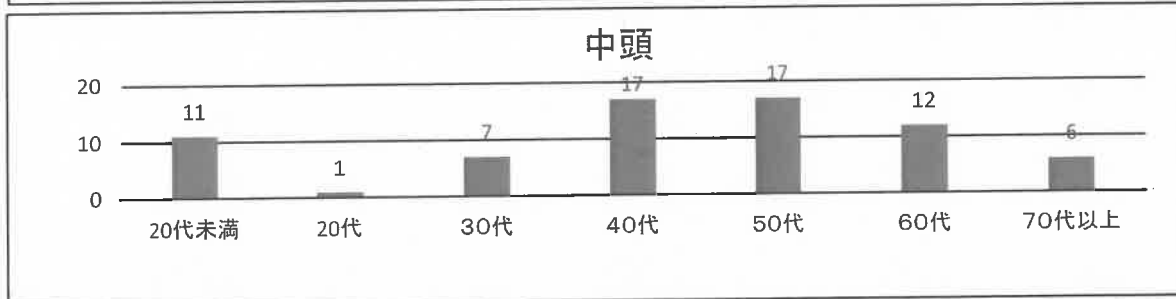
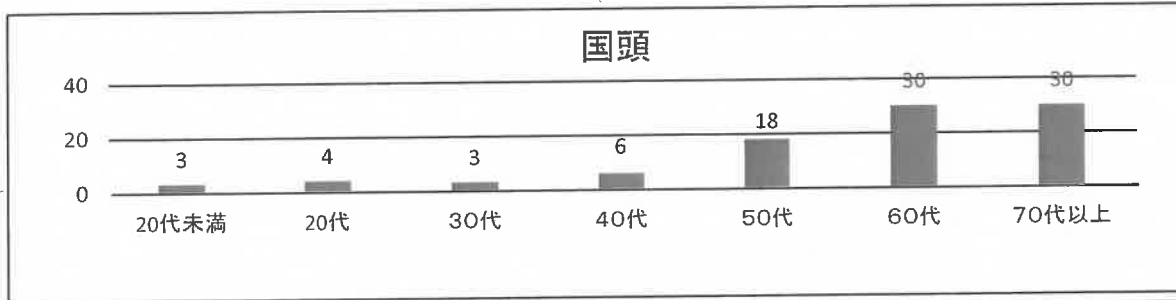
3 成果

- ・鉛筆で下絵を描いて、透明水彩絵の具で彩色することになるが、はじめに光や影になる部分に注意し、光の当たる部分は塗らない、彩色手順ははじめ薄い色の順で、3色以上混ぜないのが良いなど、基本からの技法を学んだ。
- ・同題材でもそれぞれに個性がでて、仕上がりの絵を互いに見せ合い笑顔が見られた
- ・描く前の分かり易いポイント説明があり、取り掛かりからの集中ぶりは、好きな人が集まったのかとも思えるほど、参加者全員が絵を完成した。

4 課題

- ・指導内容を充実させるために、受講人数を減らすなど調整する必要があった。
- ・コロナ禍における感染対策の徹底。

広域学習サービス講座 年代別受講者数 (教育事務所別)



(2) 講座を受けた動機

① 美ら島沖縄学講座

第1回講座[組踊への誘い「花売りの縁」]

- ・組踊の歴史的背景や所作を学習をしたかったため
- ・講座付きで組踊鑑賞もできてお得のため
- ・沖縄の伝統芸能に興味があったため
- ・国立劇場の見学をしたかったため

第2回講座[琉球国時代の疾病対策]

- ・コロナ禍の中、講座のタイトルに興味をおぼえたため
- ・昔の人はどんなふう生き抜いたか知りたかったため
- ・琉球史に興味があるため
- ・夏休みの(宿題の)社会新聞の内容にしたいため

第3回講座[おもろさうしの世界]

- ・コロナ禍で退屈だったため
- ・おもろさうしに興味があつて勉強したかったため
- ・琉球史や文化に興味があるため
- ・おもろさうしを一人で学ぶのはハードルが高いため

第4回講座[泡盛の魅力・香りを探る－中級編－]

- ・古酒を育てているため
- ・泡盛のことをもっと知りたかったため
- ・銘酒の歴史や蒸留方法を知りたかったため
- ・自宅の古酒の仕次ぎについて知りたかったため

第5回講座[沖縄の自然と気候変動－陸編－]

- ・気候変動の原因について学びたかったため
- ・3年ほど国頭の山地を歩いているため
- ・自然から得られるものは何かを深く考えてみたかったため
- ・自然と気候変動の関連性を知りたかったため

第6回講座[古文書の読み方1]

- ・古文書を読めるようになりたかったため
- ・古文書に興味があるため
- ・琉球の歴史、文化、芸術が好きなため
- ・頭の体操、ぼけ防止のため

第7回講座[沖縄の自然と気候変動－海編－]

- ・農業をしているので沖縄の気候変動に興味があるため
- ・沖縄の自然環境を理解したいため
- ・次世代に環境を渡すに当たっての切迫感があるため
- ・地球温暖化に関心があるため

第8回講座[伝統の漆工芸の世界]

- ・漆について知りたいため
- ・琉球漆器が素晴らしいため
- ・琉球・沖縄の文化を学びたいため
- ・沖縄の伝統工芸に興味があるため

第9回講座[沖縄の湧き水巡り－本島中部編－]

- ・講座中止のためアンケート実施なし

第10回講座[古文書の読み方2]

- ・古文書の読み方を学びたいため
- ・社会勉強のため
- ・古文書を勉強するところがないため
- ・郷土の古文書が読みたいため

第11回[次世代に伝えたい琉球料理]

- ・琉球料理に関心があり、学びたかったため
- ・琉球の歴史の中で生き残った食文化を知りたかったため
- ・沖縄の健康料理を知りたかったため
- ・料理のレパートリーが少なかったため

② 広域学習サービス講座

[国頭教育事務所]

- ・友人、学校の先生の紹介があったため
- ・日常気づかなかった事柄、新しい発見をしたいため
- ・沖縄の歴史・文化を学びたいため
- ・知識を広げていきたいため

[中頭教育事務所]

- ・前からやってみたいと思っていたため
- ・仕事やイベントなどで使えそうのため
- ・講座タイトルに惹かれたため
- ・子どもが喜びそうのため
- ・興味・関心があったため

[那覇教育事務所]

- ・楽しそうのため
- ・夏休みに親子で参加できるため
- ・貴重だと思ったため
- ・家族に誘われたため

[島尻教育事務所]

- ・講座内容に興味があったため
- ・継続受講しているため
- ・友人に勧められたため
- ・豊見城について詳しく知りたかったため

[宮古教育事務所]

- ・自分のアイデンティティーに関することが聴けると思ったため
- ・海外の人と交流でき、子どもにも外国の人と触れあってほしかったため
- ・地域の願い、存続のために何が必要かと考えたため
- ・地下ダムに興味があったため

[八重山教育事務所]

- ・テーマに興味をわき、苦手な分野に挑戦しようと思ったため
- ・島財での体験ができるよい機会だったため
- ・地域の自然文化に触れるため
- ・自分を少しでも高めたいと思ったため

(3) 今後学習したいこと

① 美ら島沖縄学講座

- ・三線
- ・スマホの使い方
- ・歴代宝案や王国時代の外国との交易
- ・琉球王国時代の民俗・軍隊・軍備
- ・島々の冠婚葬祭儀礼
- ・沖縄の地質・古地図・那覇の旧石器・新石器時代琉球の歴史(三山時代)
- ・沖縄の伝統工芸(漆とか)、金継ぎ、琉球王国時代の螺鈿技法
- ・島々の風習・民俗(石獅子とか)琉球舞踊、琉歌
- ・沖縄の自然、水、井戸、泉
- ・琉球王朝時代の事件
- ・沖縄・琉球に関する歴史・民俗・文化
- ・しまくとぅば、古文書の購読
- ・沖縄の門中
- ・歴代宝案、琉球史、琉球王国に関すること、庶民の暮らし方、琉球王府時代の冠婚葬祭
- ・ジョン万次郎
- ・沖縄の交通政策(鉄軌道など)
- ・身近で食べられる野草、徐葆光の漢詩薬膳料理や山菜料理、健康食
- ・古琉球の歴史
- ・沖縄の織物(首里織、宮古上布、八重山上布等)
- ・尚氏歴代王の功績
- ・人生百年時代の長寿社会、終活に必要な法律
- ・沖縄の民話・絵本・女流文学者(歌人を含めて)
- ・闘牛
- ・県内のグスク廻り
- ・自然に関する調査データ、状態、増減変化

② 広域学習サービス講座

[国頭教育事務所]

- ・やんばるの自然について
- ・沖縄の薬草
- ・防災・暮らしに役立つ知識・健康的な歩き方
- ・家系図の作り方
- ・老後の過ごし方・終活

[中頭教育事務所]

- ・子どもと一緒に参加できるもの
- ・ふだんなかなかできないこと
- ・人生が楽になるような講座
- ・心と身体のこと
- ・金融・お金
- ・呼吸法・ヨガ

[那覇教育事務所]

- ・沖縄の歴史・言語
- ・自然や文化のこと
- ・沖縄の自然・地理を活かしたアクティビティ
- ・ふだん家族だけではできない企画

[島尻教育事務所]

- ・南部農林高校の感動的な講座
- ・地域の特色や文化
- ・地域の特産品や産業
- ・歌碑めぐりやフィールドワーク

[宮古教育事務所]

- ・拝み、願い、御嶽信仰
- ・外来生物や植物
- ・東アジアにおける今後の日本のありかた
- ・宮古島で進んでいる基地の状況
- ・島の公共交通の歴史

[八重山教育事務所]

- ・機織り・染め物・かご作りの体験講座
- ・ホテルシェフを講師にテーブルマナー講座
- ・島の薬草を用いた調理実習
- ・島に棲む動植物について
- ・文化財巡り・郷土の歴史

4 おきなわ県民カレッジ機関別連携講座数

2023年2月28日現在

機関名	番号	講座実施団体	前期	後期	年間	合計
(1)国・県関係機関	1	国立劇場おきなわ	4	-	4	246
	2	沖縄県立図書館	1	-	1	
	3	沖縄県立埋蔵文化財センター	3	-	3	
	4	沖縄県立博物館・美術館	50	-	50	
	5	沖縄県立名護青少年の家	8	9	17	
	6	沖縄県立石川青少年の家	4	4	8	
	7	沖縄県立糸満青少年の家	36	-	36	
	8	沖縄県立玉城青少年の家	-	22	22	
	9	沖縄県立総合運動公園	-	54	54	
	10	沖縄県総合福祉センターかりゆし長寿大学	49	1	50	
	11	沖縄県被害者支援ゆいセンター	1	-	1	
(2)市町村関係機関	12	那覇市中央公民館	9	6	15	314
	13	那覇市牧志駅前ほしぞら公民館	6	2	8	
	14	那覇市首里公民館	6	4	10	
	15	那覇市石嶺公民館	9	7	16	
	16	那覇市小録南公民館	3	7	10	
	17	那覇市若狭公民館	9	3	12	
	18	那覇市壺屋焼物博物館	5	-	5	
	19	浦添市美術館	-	10	10	
	20	浦添市てだこ学園大学院	89	-	89	
	21	沖縄市立中央公民館	15	11	26	
	22	沖縄市立郷土博物館	8	4	12	
	23	宜野湾市立博物館	5	10	15	
	24	糸満市生涯学習支援センター	16	-	16	
	25	那覇市小禄老人福祉センターかりゆしうるく	34	-	34	
	26	ちやたんニライセンター生涯学習プラザ	11	12	23	
	27	石垣市教育員会いきいきまなび課	13	-	13	
	(3)高等教育機関	28	沖縄国際大学	10	-	
29		琉球大学	41	76	117	
(4)各種教育関係機関等	30	豊見城歴史文化同好会	1	-	1	668
	31	古都首里探訪会	2	4	6	
	32	沖縄文化健康センター ペアール沖縄・タピック	74	-	74	
	33	ウエル・カルチャースクール	294	292	586	
	34	県立博物館友の会	-	1	1	
			816	539	1,355	1,355

おきなわ県民カレッジ開設要綱

平成17年3月11日知事決裁

(目的)

第1条 県民の多様化・高度化する学習ニーズに対応するため、県内の生涯学習関連機関が実施している講座等を総合的に体系化し、県民に生涯学習の機会を効果的に提供するとともに、学んだことを評価・活用する「おきなわ県民カレッジ」(以下「県民カレッジ」という。)を開設する。

(運営主体)

第2条 運営主体は、沖縄県教育委員会とする。

(講座の種別)

第3条 県民カレッジは、次の講座を開設する。

- (1) 主催講座
- (2) 連携講座
- 2 主催講座は、沖縄県教育委員会が主催する講座で広域学習サービス講座、学校開放講座及び美ら島沖縄学講座とする。
 - (1) 広域学習サービス講座は、各教育事務所単位で実施するものとする。
 - (2) 学校開放講座は高等学校(県立盲、ろう、特別支援学校の高等部を含む)、専修学校及び各種学校の施設、設備、人材を活用して実施するものとする。
 - (3) 美ら島沖縄学講座は沖縄県教育庁生涯学習振興課が企画する講座、講演、シンポジウム等とする。
- 3 連携講座は、国、県、市町村、高等教育機関、各種関係機関等が実施し、沖縄県教育委員会が認めるものとする。
- 4 講座の実施に関し、必要な事項は別に定める。

(受講資格)

第4条 受講者は主として沖縄県内に居住する者とする。ただし、連携講座については第3条第3項の規定する機関が定める。

(学長等)

- 第5条 県民カレッジに学長及び副学長を置く。
- 2 学長は、知事をもって充てる。
 - 3 副学長は、教育長をもって充てる。

(運営委員会)

- 第6条 県民カレッジの運営に関する重要な事項について、有識者の意見を聴取するため、運営委員会を置く。
- 2 運営委員会は10名以内をもって組織し、委員は学長が選任する。
 - 3 運営委員会に関し、必要な事項は別に定める。

(事務局)

- 第7条 県民カレッジの事務を処理するために事務局を沖縄県教育庁生涯学習振興課に置く。
- 2 事務局長は、沖縄県教育庁生涯学習振興課課長をもって充てる。

(補則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、県民カレッジの運営に関し必要な事項は別に定める。

(附則)

この要綱は、平成17年4月1日から施行する。

この要綱は、平成19年5月14日から施行する。

この要綱は、平成20年4月1日から施行する。

おきなわ県民カレッジ主催講座実施要項

平成17年 4月28日
教育長 決 裁

(目的)

第1条 おきなわ県民カレッジ開設要綱第3条第4項の規定に基づき、おきなわ県民カレッジ主催講座（以下「主催講座」という。）の実施に関し必要な事項を定める。

(実施機関)

第2条 主催講座の実施機関は、次のとおりとする。

- (1) 美ら島沖縄学講座は、おきなわ県民カレッジ事務局（沖縄県教育庁生涯学習振興課。以下「事務局」という。）が実施する。
- (2) 広域学習サービス講座は、各教育事務所が実施する。
- (3) 学校開放講座は、県立学校（県立盲、ろう、特別支援学校の高等部を含む）、専修学校及び各種学校が実施する。

(実施計画書等の提出)

第3条 実施を希望する機関は、おきなわ県民カレッジ主催講座実施計画書（様式1）とおきなわ県民カレッジ主催講座事業費見積書（様式2）を事務局に提出するものとする。

(実施機関の決定)

第4条 おきなわ県民カレッジ学長（沖縄県知事。以下「学長」という。）は、前条の実施計画書等の内容等を審査し、実施機関を決定する。

- 2 前項により、学長は決定の通知を行うとともに、必要に応じて委託業務契約を締結する。

(受講者)

第5条 受講者は、主として県内に居住する者とする。

(受講者の募集及び決定)

第6条 受講者の募集及び決定は、実施機関の長が行う。

(修了証の授与)

第7条 総時間の7割以上の出席者に修了証を授与することができる。

(講師)

第8条 講師は、学長が委嘱する。

- 2 学校開放講座の講師は、原則として実施機関である学校の教職員とする。ただし、学習の内容により外部講師を依頼することができる。

(経費の負担)

第9条 事業に必要な経費は、事務局が負担する。ただし、受講者に直接還元される教材費等は、受講者の負担とする。

- (1) 事務局は、教育事務所及び県立学校に対して、予算の範囲内で講座実施に必要な経費を令達するものとする。
- (2) 学長は私立高等学校、専修学校及び各種学校に対して、おきなわ県民カレッジ主催講座委託業務契約書に基づき必要な経費を支出するものとする。

(事業報告書)

第10条 実施機関は、おきなわ県民カレッジ主催講座事業実績報告書（様式3）、おきなわ県民カレッジ主催講座集計表（様式4）及びおきなわ県民カレッジ主催講座事業精算書（様式5）を講

座終了後30日以内に作成し、学長に提出しなければならない。

(受講者の責任)

第11条 講座の受講者は、受講に際し、実施機関の施設又は設備に損害を生じさせた場合には、その損害を賠償するものとする。ただし、学長がやむを得ない理由があると認めた場合は、賠償額を減額し、又は免除することができる。

(実施上の事務)

第12条 この講座の実施に関する事務は、事務局が処理する。

(補則)

第13条 この要項に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

附則

- 1 この要項は、平成17年4月28日から施行する。
- 2 沖縄県広域学習サービス体制整備事業実施要綱（平成14年3月27日教育長決裁）、沖縄県広域学習サービス事業開設要項（平成10年7月30日教育長決裁）及び沖縄県学校開放講座実施要綱（平成6年6月1日教育長決裁）は、廃止する。
- 3 この要項は、平成20年4月1日から施行する。
- 4 この要項は、平成24年4月13日から施行する。

おきなわ県民カレッジ連携講座実施要項

平成17年4月28日
教育長決裁

(目的)

第1条 おきなわ県民カレッジ開設要綱第3条第4項の規定に基づき、おきなわ県民カレッジ連携講座(以下「連携講座」という。)の実施に関し、必要な事項を定める。

(実施機関)

第2条 連携講座を主催する機関は、国、県、市町村、高等教育機関、各種関係団体等の機関とする。

(講座)

第3条 連携講座は、県民に対して開かれた生涯学習に関する講座とする。次の各号に該当する講座は、連携講座として承認しないものとする。

- (1) 県及び主催団体職員のみを対象とした職務上の講習会や研修会
- (2) 特定の宗教や政治思想の普及を目的とした講習会や研修会
- (3) その他沖縄県教育委員会教育長(以下「教育長」という。)が、不相当と認めたもの

2 連携講座の主催者は、連携講座の表示をするものとする。

3 講座は、おきなわ県民カレッジ運営要項第9条第1項第2号に定める講座体系に分類するものとする。

(申請等)

第4条 連携講座の主催者は、おきなわ県民カレッジ連携講座申請書(様式1)により教育長に申請する。

2 教育長は、前項の申請書に基づき審査を行い、相当と認められるものについては承認し、おきなわ県民カレッジ連携講座承認書(様式2)により通知するものとする。

(受講者の募集及び決定)

第5条 受講者の募集及び決定は、各実施機関が行う。

(単位の認定)

第6条 連携講座の単位認定は、学長が行う。

(経費及び運営)

第7条 連携講座の開設及び運営に要する費用は、すべて各実施機関が負担するものとする。

2 この要項に定めるもののほか、講座の運営に関することは、各実施機関が行う。

(補則)

第8条 この要項に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

附則

この要項は、平成17年4月28日から施行する。

附則

この要項は、平成22年9月2日から施行する。

令和4年度 おきなわ県民カレッジ報告書

令和5年3月発行

発行 沖縄県教育庁 生涯学習振興課 生涯学習推進センター
〒900-0029 沖縄県那覇市旭町116-37 南部合同庁舎4階
TEL 098-864-0474 FAX 098-864-0476
<https://www.pref.okinawa.jp/edu/shogai/index.html>